

ヤシャビシヤク

Ribes ambiguum

ユキノシタ科

カテゴリー

大分県 Ⅱ

環境庁 Ⅱ

種
子
植
物



おもにブナに着生する高さ80cmほどの落葉低木。葉は短枝に大小3～4個が束生する。形は浅く3～5裂した腎円形で粗い鋸歯があり、長さは3～5cm。表面は濃緑、裏面は帯白色で脈上に毛が多い。4～5月、枝の先に直径1cmほどの緑白色の5弁花を1～2個つける。がくに腺毛^{せんと}が目立つ。花後に粗い毛のある直径1cmほどの実がつく。本県では山地に点在し、個体数も少ない。ブナ林の伐採、強風による着生樹の倒木や枯死などにより、生育地の減少が懸念される。葉の裏に毛のないケナシヤシャビシヤクを含む。

(写真・文：阿孫久見)

県内分布 耶馬溪地区、英彦山・犬ヶ岳山地、日田低地・丘陵地、津江山地、九重火山群、大野川上流域、祖母・傾山地、北川上流域

分布域 本州，四国，九州（福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島）